

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 専門選択試験 社会学 】

【出題意図】

社会学に関して、大学レベルで習得されるべき基礎的な学力を判定し、個別専門分野における事象について、論理的・分析的な考察・記述を行える能力を判定すること。

問1次の a~g の中から 1 問を選択して、論述しなさい。解答用紙に選択した記号を記入すること。

- a. 「サービス経済化」の進展とそれに伴う雇用のあり方の変化が、労使関係に与える影響について論述しなさい。

「解答のポイント」

1. 「サービス経済化」という趨勢を理解できていること
2. 「サービス経済化」開始時期について、理解できていること
3. 「サービス経済」における雇用の特徴について、理解できていること
4. 「サービス経済」における雇用拡大が労使関係において与える影響を記述していること

- b. ブルデューにおける「構造化された構造」と「構造化する構造」について、説明しなさい。

「解答のポイント」

1. ブルデューの理論におけるこの用語の意義を理解できていること
2. ハビトゥスとの関係で、この2つが何を意味しているか説明できていること
3. 実践との関係、意味の生成との関係に言及していること
4. 行為者の主体性との関連を指摘していること

- ・ブルデューにおける「構造化された構造」と「構造化する構造」は、ハビトゥスの二面性を示す定式であることへの言及が必要。
- ・ハビトゥスの説明として、その形成面としてどのような構造であるか、界との関係に触れているか、実践との関係を論じているか説明がなされているか。資本とハビトゥスの関係、生成原理であるという点を指摘できているかなどが、採点のポイントとなる。特に重要なポイントは、不平等がいかに関与されるかというブルデュー理論の内容と関連づけて、これらの2つのハビトゥスの特徴を正しく理解して説明できているかである。
- ・次の用語が、論述でもちいられて適格に説明できているかは、採点ポイントである。
ハビトゥス、性向、生成原理、趣味判断、行為、構造、再生産、身体化、蓄積、界など。

- c. 「エスニック・エンクレイブ」とは何か。具体的な例を用いて、その特徴を説明しなさい。

「解答のポイント」

1. 用語の意味を正確かつ簡潔に説明できること
2. 国際移動の文脈を踏まえて説明できること
3. 意味を正確に把握したうえで、適切な例を取り上げていること
4. 2について、エスニック・エンクレイブの事例にしばしば共通する特徴を指摘できていること。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

- d. 「コレクティブ・インパクト」の意味を説明したうえで、この概念が提起された背景とソーシャル・イノベーション論におけるその意義について論述しなさい。

【解答のポイント】

- ①「コレクティブ・インパクト」の概念について、意味を明確に述べられているか。特に、コレクティブという言葉の含意を捉えているか。
- ②代表的な論者についての言及があるか。
- ③この議論が提起された背景と文脈、類似概念としての「ソーシャル・インパクト」との関係について把握しているか。
- ④この概念の提起が、ソーシャル・イノベーション論にどのような影響を与えたか、その意義について根拠を示しながら自分の見解を示せるか。

- e. 都市におけるジェントリフィケーションが包含する問題について論述しなさい。

「解答のポイント」

1. 「ジェントリフィケーション」概念について理解していること
2. 「ジェントリフィケーション」の展開について歴史的な経緯を含めて的確に理解していること
3. 「ジェントリフィケーション」が都市に与えた影響について説明していること
4. 「ジェントリフィケーション」によって生じた問題点について具体的な事例を挙げて論じていること

- f. 昨今のテレビ離れの現状とその背景について説明し、ネット社会における放送のあり方について論述しなさい。

「解答のポイント」

1. ネット社会の到来によるテレビ離れの現状を的確に把握していること。
2. 放送のビジネスモデルの限界と配信系が力を持つ現状の背景を指摘していること。
3. 誤・偽情報が流通するなかで、放送の役割やアドバンテージに言及していること。
4. 以上を踏まえ、今後の放送のあり方を論じていること。

- g. エスピン・アンデルセンによる福祉レジーム論における東アジアの位置づけについて説明し、特に戦後の日本の特徴について、近代家族化の観点から論述しなさい。

「解答のポイント」

1. エスピン・アンデルセンの福祉レジーム論について理解していること
2. 福祉レジーム論において第4のレジームとして東アジアが位置付けられるようになった経緯とその特徴について理解していること
3. 2と関連付けて戦後の日本の家族政策について説明していること
4. 3において近代家族概念を理解した上で、戦後の日本の近代家族化と関連付けて説明していること

問2次の1~14の社会学専門用語の中から4つ選んで、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

解答用紙に選択した番号を記入すること。

1. 社会化の形式

「解答のポイント」

- ①この概念を提起した論者について言及していること
- ②この概念の意味内容を記述できていること
- ③この概念の社会学史上の意義に言及していること

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

2. ジョブ型雇用

「解答のポイント」

- ①この概念の意味内容を記述していること
- ②この概念の対抗概念について言及していること
- ③この概念が意味する状態が雇用にもたらす影響について言及していること

3. 主成分分析

「解答のポイント」

- ①多変量解析の手法の一つとして、その目的を説明していること。
- ②この手法の特徴について、説明していること。
- ③因子分析との違いについて、説明していること。

多数の相関した変数を、分散が最大となる直交（無相関）な合成変数＝**主成分**に変換し、情報（特に分散）をできるだけ保ったまま情報を縮約することを目的に、**次元削減**・要約を行う多変量解析法である。第1主成分が最も大きな分散を説明し、以後第2、第3…と続く。回転は通常行わず、因子分析とは目的（潜在因子の推定か、情報要約か）が異なる。

4. 規律訓練

「解答のポイント」

- ①フーコーが定式化した概念であると説明していること。
- ②権力との関係で、この概念の特徴を説明していること。
- ③その目的を果たすための過程や特徴を説明していること。

個人の身体・感情・時間・行為を、反復練習や監視、評価、罰賞などを通じて標準化し、自己統制を内面化させる社会化の技法。フーコーのいう「規律権力」に典型的にあらわれ、従順で有用な身体（docile bodies）を生産し、学校・軍隊・職場などで作動する。

5. 同化主義

- ①同化主義の特徴が簡潔に説明できていること。
- ②「同化」と呼ばれる現象と同化主義の違いが理解できていること。
- ③同化主義への批判という現象とその後の展開について説明できていること。

6. 現在主義

- ①構築主義との関係について理解できていること。
- ②「過去」の解釈をめぐる議論であることが説明されていること。
- ③「集合的記憶」論についての基礎的な理解が示されていること。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

7. コミュニティ・オーガナイズング

【解答のポイント】

- ①この概念の意味について明確に述べているか
- ②コミュニティ・オーガナイズング概念の裏付けとなる社会的実践とその社会的文脈について言及しているか
- ③コミュニティ・オーガナイズングのプロセスについて述べているか

8. ミッション・ドリフト

【解答のポイント】

- ①この概念の意味について明確に述べているか
- ②ミッション・ドリフトが生じやすい状況について言及しているか
- ③ミッション・ドリフトの弊害と対策について述べているか

9. 地域構造分析

「解答のポイント」

- ①地域社会学における構造分析の提唱者や研究グループについて説明していること。
- ②構造分析の登場の経緯や地域社会学における位置付けについて説明していること。
- ③構造分析のその後の発展などについて説明していること。

10. アーバニズム理論

「解答のポイント」

- ①アーバニズム理論を提唱した研究者・研究グループについて説明していること。
- ②この理論の主張のポイントを的確に説明できていること。
- ③都市社会学分野に与えた影響について説明していること。

11. 思想の自由市場

「解答のポイント」

- ①国家などから介入されず、誰もが自由に発言する重要性を指摘できていること。
- ②多様な言論を市場の自由競争に委ねることで、豊かな言論環境成立の基盤となっていることを理解していること。
- ③誤った表現、有害な表現に対しては規制ではなく反論や説得で対抗すべきことを理解していること。

12. データジャーナリズム

「解答のポイント」

- ①昨今のメディア環境の変化を踏まえて登場の背景を理解していること。
- ②用いられるデータの特徴（オープンソース、多様な資料）に言及していること。
- ③調査報道など、社会的意義やメリットを指摘していること。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

13. ケアリング・マスキュリニティ

「解答のポイント」

1. この概念の提唱者に言及していること
2. この概念の意味と内容について正しく説明していること
3. この概念が生まれた背景について理解し、この概念の浸透によって目指されるジェンダー関係について言及していること

14. 構造的空隙

「解答のポイント」

1. この概念の提唱者に言及していること
2. この概念の意味と内容について正しく理解し、説明していること
3. この概念と社会関係資本との関連性についても言及していること

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 専門選択試験 社会福祉学 】

【出題意図】

社会福祉学に関して、大学レベルで習得されるべき基礎的な学力を判定し、個別専門分野における事象について、論理的・分析的な考察・記述を行える能力を判定すること。

問1次のa~fの中から1問を選択して、論述しなさい。解答用紙に選択した記号を記入すること。

a 2020年の社会福祉法改正により始まった「重層的支援体制整備事業」の意義と概要および課題について整理しなさい。

〔模範解答〕

重層的支援体制整備事業は、地域住民が抱える複雑な課題に対し、分野を横断した包括的な支援体制を市区町村が構築する事業で、2020年改正社会福祉法の改正（法第106条の3・4）により創設された（2021年4月施行）。この事業は、高齢、障害、子ども、生活困窮など、従来の縦割分野別の支援では対応が難しい複合的な課題を抱える世帯やどの分野・部署・制度にも属さない課題などにフォーマル・インフォーマルの資源の動員や連携協働などにより包括的・総合的に対応し、地域共生社会の実現を目指そうとするものである。この事業が求められた背景には、社会構造の変化や家族形態の多様化により、生活課題が複雑化・複合化し、単一の専門分野の支援だけでは対応が困難なケースが増加したことがある。無縁社会が進展し単身世帯が増えたこと、周りの目が届かないことから本人が自覚しSOSを発しない限り課題が顕在化しないこと、たとえ把握されても家族による見守りや身の回りの世話などの支援が得られないことなどがある。その典型例が8050問題やダブルケアのように、一つの世帯が複数の課題を抱えるケースや、世帯全体が孤立するケースである。

重層的支援体制整備事業は市町村事業であり、以下の3つの支援を一体的に行うことが必須とされている。

①相談支援: 属性を問わず、まずは相談を受け止める体制を構築します。（包括的支援、多機関連携協働、アウトリーチ、伴走型支援などにも取り組む）

②参加支援: 相談者が社会とのつながりを回復できるよう支援します。

③地域づくりに向けた支援: 世代や属性を超えて交流できる場や居場所を整備します。

この事業に取り組む市町村には、従来から分野（介護、障害、子ども・子育て、生活困窮）ごとに行われていた相談支援や地域づくりにかかる補助（「既存事業」）に、新たに多機関協働や参加支援等の機能強化を図る補助を加えて一体的に執行できるよう「重層的支援体制整備事業交付金」（「重層事業交付金」）として一括交付されるようになる。現在、この事業に取り組んでいる自治体は、令和3年度42市町、令和4年度134市町村、令和5年度189市町、令和6年度346市町村となっている。

重層的支援体制整備事業の課題として指摘されていることは、未実施市町村が多いということである。そのうちの2割が「現在行っている取組で十分整備できていると考えており、重層に取り組む必要がない」と回答している。また、地域づくりに向けた支援や伴走型での参加支援に取り組む力量的（町村部など小さな自治体では体制的にも、人員的にも、社会資源的にも、財政的にも対応困難）な問題があるとされている。これらの課題もさることながら、本音レベルでは、多くの未実施自治体が「新しいことに取り組ませておいて、いずれ国からの補助優遇は無くなるのではないのか」というサンセット方式補助金事業への懐疑・猜疑心を強く抱いているということがえられる。

b 職業リハビリテーションサービスの提供（障害者への支援）プロセスについて説明するとともに、その課題について論述しなさい。

① 職業リハビリテーションは「障害者の雇用の促進等に関する法律」第8条（職業リハビリテーションの原則）において示され、ソーシャルワークを適用したサービスが提供される。

② 内容は、1.障害者の身体的・精神的・社会的・職業的能力と可能性についての実態を把握する（職業評価）、2.就労や訓練の可能性に関して障害者に助言する（職業指導）また、必要に応じて適応訓練、職業訓練等を実施する（職業能力開発）3.適職を見つけるための援助を行う（職業紹介）4.職業（職場）への適応をモニターしつつ促進する（フォローアップ）で構成され、支援プロセスは、就労意思の確認（インタビュー）→職業評価→就労支援計画の策定→就労支援の実行（職業指導・職業訓練等）→フォローアップを経て終結する。

③ サービス提供には専門的マンパワーの質が重要になる。よって、その供給体制や養成のシステム等の拡充が課題となる。また、評価結果に基づく計画を実行に移行する段階で他機関との多様な連携が不可欠となる。よって、連携を機能的なものとするための地域におけるネットワークの構築と拡大が重要である。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

c 「認知症カフェ」の目的と意義を説明したうえで、地域において期待される効果を論述しなさい。

(目的)

- ・認知症の人・家族・住民・専門職が集う「居場所」と交流の場をつくる。
- ・気軽な相談を可能にし、必要な支援（受診、介護、地域資源）につなぐ。
- ・認知症理解を広げ、偏見と孤立を減らす。

(意義)

- ・制度サービスの手前にある「中間的な支え（つながり）」を地域に確保する。
- ・本人の社会参加と役割を支え、尊厳・主体性を守る。
- ・家族の心理的負担を和らげ、介護継続力を高める。

(地域において期待される効果) 40%

- ・早期相談・早期支援が進み、危機化や重症化を防ぎやすい。
- ・孤立予防と見守りのネットワークが強まる（気づきが早い）。
- ・スティグマが低下し、共生の地域文化が育つ。
- ・家族介護者の負担軽減（ピア支援、情報、レスパイト）。
- ・多職種・関係機関の連携ハブになり、支援の切れ目が減る。
- ・地域資源（住民力、ボランティア、当事者の強み）が発掘・活性化する。

D 介護保険法及び障害者総合支援法における住宅改修制度の現状と課題について論述しなさい。

(採点のポイント)

①介護保険法における住宅改修制度の概要が示されていること（

- ・給付内容（対象者、支給限度基準額、転居リセットや3段階リセット、住宅改修の流れ等）について記載されているか
- ・事前申請制度とその課題について記載されているか

②障害者総合支援法における住宅改修制度の概要と、介護保険制度との違いが示されていること

- ・給付内容（日常生活用具の給付方法及び支給額、応能負担、居宅生活動作補助用具など）について記載されているか
- ・介護保険制度との違いが示されているか

③以上を踏まえ、課題について考察されていること

- ・進行性疾患の場合の問題、業者間格差の問題、ケアマネジメント上の課題など

e WRAP（元気回復行動プラン）の概要と精神障害者にとっての意義について論述しなさい。

WRAP は、アメリカで精神的困難を抱えたコーブランドを中心としたピアグループが考案した日常生活で活用するセルフヘルプツールである。希望、責任、学び、権利擁護、サポートの5つの基本原則に基づき、日常生活管理、ストレス反応、注意サイン、調子が悪い時、クライシス、クライシス脱出後の6つにプランを作成し、自分自身の元気を維持回復させるための自分だけの取り扱い説明書を作る。

このプランを作成することで、精神障害者は自分自身の健康の主導権を握り、希望を持ってリカバリーできる。すなわち、精神障害者に生活の質向上やエンパワメントに大きな意義がある。

f 「入院者訪問支援事業」の概要とその創設意義について論述しなさい。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/chiihoukatsu_00003.html

○概要：精神科病院で入院治療を受けている者については、医療機関以外の者との面会交流が特に途絶えやすくなることを踏まえ、入院者のうち、家族等がない市町村長同意による医療保護入院者を中心として、面会交流の機会が少ない等の理由により、第三者による支援が必要と考えられる者に対して、希望に応じて、傾聴や生活に関する相談、情報提供等を役割として訪問支援員を派遣するものである。実施主体は都道府県、政令指定都市。

○目的（意義）：医療保護入院や措置入院など、本人の同意に基づかない入院により治療を行っている患者については、平成25年精神保健福祉法改正法の附帯決議(平成25年5月30日参議院厚生労働委員会)において、その意思決定及び意思表示について代弁を含む実効性のある支援の在り方について早急に検討を行うこととされており、これまでモデル事業や調査研究等を通じて、支援の在り方やその手法について検討されてきたところである。

他方で、家族等がない場合の市町村長同意による医療保護入院者については、医療機関外の者との面会がなく、本人の孤独感や自尊心低下が顕著となり、人権擁護の観点から望ましくない。このため、都道府県等を中心として、市町村長同意による医療保護入院者等を対象に、精

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

神科病院を訪問し、生活に関する相談等に応じて、患者の体験や気持ちを丁寧に聴くとともに必要な情報提供を行う支援体制を構築するのが目的である。

問2次の1~12.の社会福祉学専門用語の中から4つを選んで、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

解答用紙に選択した番号を記入すること。

1. 生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業は、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、地域住民の「互助」による助け合い活動を推進し、地域全体で高齢者の生活を支える体制を構築する事業である。市町村が介護保険法に基づき実施し、介護保険料や税金が財源となる。この事業では、市町村は、①「生活支援コーディネーター配置」と②「協議体の設置」に取り組む。①の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）は、地域資源の把握やネットワーク化を行うとともにボランティアなどの担い手の養成、新たなサービス開発をコーディネートも行う。多くの自治体で社会福祉協議会に配置されている。②の協議体とは、地域における定期的な情報共有と連携強化のためのネットワークであり、地域の様々な関係者が集まり、高齢者の生活課題等を協議し、助け合い活動の創出・充実に支えようとするものである。

2. DWAT

DWAT（ディーワット）とは、災害時に避難所で高齢者や障がい者、子どもなどの要配慮者に対し、生活機能の低下や要介護度の重度化といった二次被害を防ぐために福祉支援を行う民間の福祉専門職で構成されるチームである。大規模災害時に要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活における生活機能の低下を防ぎ、早期の日常生活への移行を支援することを目的とする組織的な専門職派遣体制である。2018年5月に厚生労働省が「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」を策定し、各都道府県でのDWAT組成が推進されてきた。DWATの主な活動内容は、福祉避難所への誘導、要配慮者への健康調査やアセスメント、日常生活上の支援、相談支援、一般避難所内の環境整備、被災市町村や避難所管理者、他の支援チームとの連携・調整などである。DWATは各都道府県単位に社協や施設団体や職能団体の協力を得て、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、障害者支援員、保育士などの福祉専門職で構成され、1チーム5~6人で派遣され活動する。

3. 稼働能力

身体的条件や精神的条件、技能・経験、年齢・性別、環境要因などを総合的に考慮して、就労可能とされる能力のこと。生活保護制度や障害者雇用制度における支援基準となる。

4. 社会復帰調整官

刑務所や少年院などの矯正施設に所属し、受刑者や少年の社会復帰を支援する専門職。出所後の生活支援の調整、地域との連携、再犯防止の支援を行っている。高齢受刑者や障害のある受刑者、医療的ケアが必要な人の増加に対応するため、福祉との連携が重視されている。

5. エイジテック

エイジテック（AgeTech）とは、高齢化に伴う課題やニーズに対し、ICT、AI、ロボット、センサー等で解決を図る技術・サービスの総称である。見守り、健康管理、介護支援、移動支援などを通じて、自立とQOL、介護負担軽減に資する。

6. アルツハイマー型認知症

アルツハイマー型認知症は、脳にアミロイドβやタウ蛋白が蓄積し神経細胞が障害されることで、記憶障害を中心に見当識障害、判断力低下、失語などが徐々に進行する認知症である。早期は物忘れが目立ち、日常生活に支障が広がる。

7. 固定用スロープ

（解答例）

固定用スロープは、段差解消のために用いられる福祉用具の一種である。床に置くだけのタイプが多いが、安全のため滑り止め加工が施されているものが多い。主に和洋室間のような小さな段差を対象とした簡易スロープで、取り付け工事を伴わないものが介護保険制度における福祉用具貸与・販売の対象となる。

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

8. ストーマ装具

(解答例)

ストーマ装具は、膀胱・直腸機能障害を持つ人が尿や便を排泄するために新しく設けた排泄口（ストーマ）に取り付けて用いる装具のことである。排泄物をためるストーマ袋（パウチ）と、ストーマ袋を肌に密着させる面板から構成される。パウチと面板が分離したツーピースタイプや、両者が一体化されたワンピースタイプなどの種類がある。障害者総合支援法に基づく日常生活用具給付等事業の対象となる。

9. 障害者就業・生活支援センター

障害者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携のもと、障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図るために設置された支援機関で、国と都道府県から事業を委託された法人が運営している。

10. クラブハウス

アメリカのファウンテンハウスで 1940 年代に始まった自助グループから発展した精神障害者の地域生活のためのリハビリテーションプログラム。メンバーができる範囲で職員とともに運営やプログラムに参加し、その貢献が仲間の支援に役立つという経験を積み重ねていくことが期待されている。

11. 相談支援専門員

https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/fukushiworkguide/jobguidejobtype/jobguide_job18.html#:~:text=%E3%81%97%E3%81%94%E3%81%A8%E3%81%AE%E5%86%85%E5%AE%B9,%E3%81%AE%E6%A5%AD%E5%8B%99%E3%82%92%E6%8B%85%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82

○障害児・障害者の意向を踏まえて、自立した日常生活や社会生活の実現のため、支援・中立・公平な立場から障害福祉サービス利用のための支援などを行います。具体的には、生活全般にかかわる相談・情報提供やサービスなど利用計画の作成、モニタリング、関係機関との連絡・調整などの業務を担います。

相談支援専門員は、指定特定相談支援事業所、指定児童相談支援事業所、指定一般相談支援事業所で、1人以上配置しなければならないことになっています。なお、2018年度障害福祉サービス等報酬改定で、地域づくり・人材育成・困難事例への対応など地域の中核的な役割を担う上位資格の「主任相談支援専門員」が創設されました。

12. クロルプロマジン

<https://www.rad-ar.or.jp/siori/search/result?n=34751>

○作用と効果：脳内の神経伝達物質（主にドパミン）の受容体を遮断し、幻覚や妄想、概念の統合障害、躁状態、強い不安感や緊張感などの精神状態を安定させる作用および悪心・嘔吐を改善させる作用があります。

通常、統合失調症、躁病、神経症による不安・緊張・抑うつ、悪心・嘔吐、しゃっくり、破傷風にともなう痙攣の治療や、麻酔前、人工冬眠、催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強に用いられます。

○精神科医療への影響：1955年頃からクロルプロマジンなどの抗精神病薬が開発され、それにより急性期の幻覚や妄想が抑えられ、入院して拘束を要する患者数は減り、欧米諸国では1950年代後半から精神病床が急激に減少し始め、通院患者の増加とともに地域での生活支援に軸足が移っていった。

2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 外国語試験 英語 】

【出題意図】

社会学あるいは社会福祉学に関して、その主要なトピックについて深い理解があり、日本語において分析的・論理的な文章を書く能力を判定すること。

1. 解答は解答用紙(3 枚目)に記入すること。また選択した問題番号を記入してから、解答して下さい。

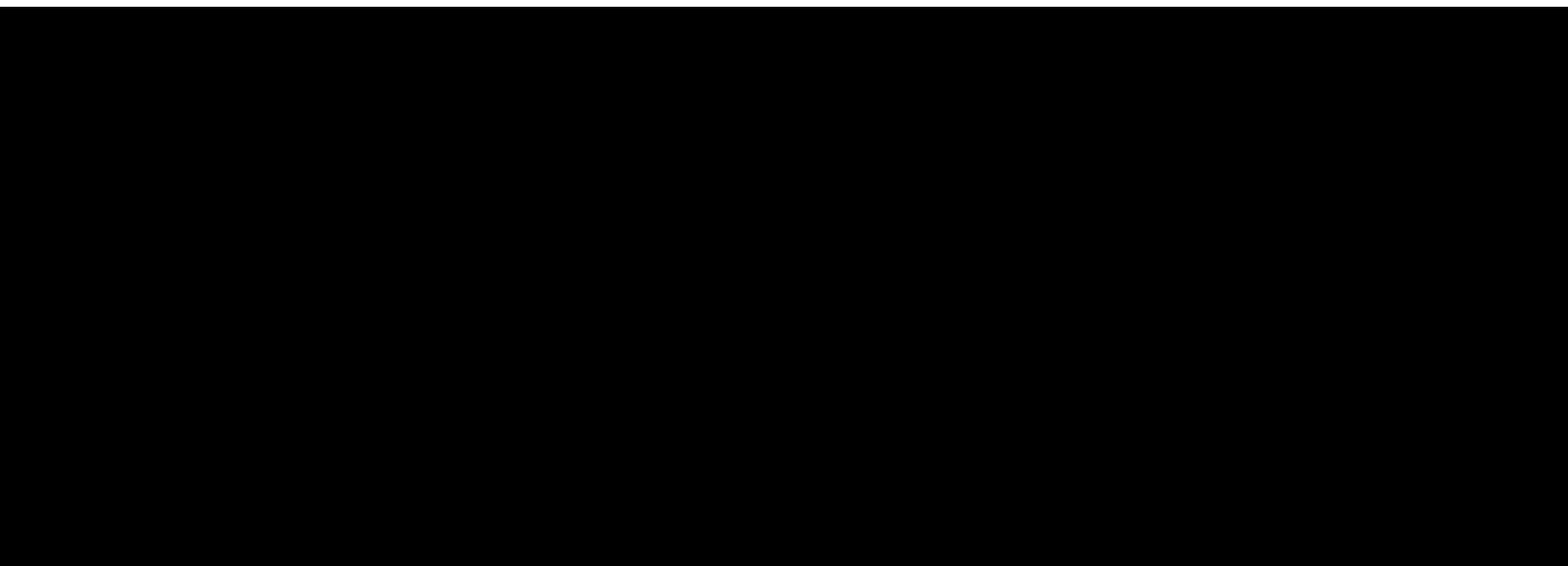
2. 志望する指導教員の専門領域が、社会学か社会福祉学かで、解答する問題が異なります。

*社会学領域の指導教員を志望している人は、問題 A を解答しなさい。

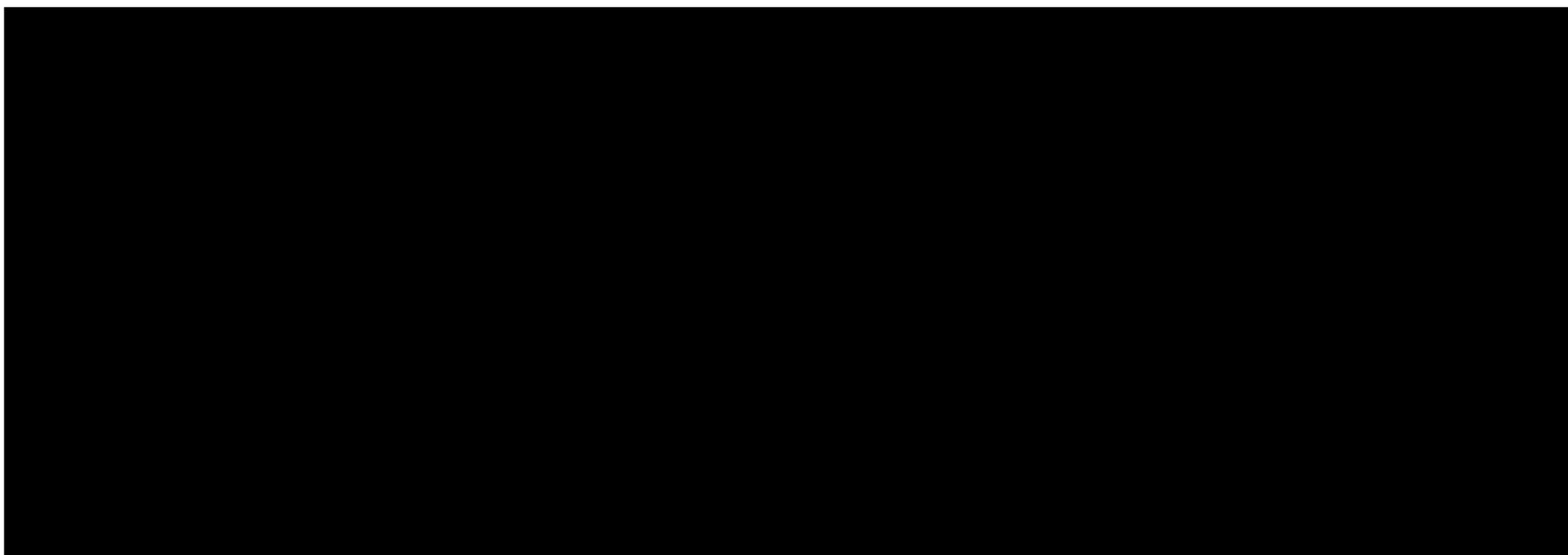
*社会福祉学領域の指導教員を志望している人は、問題 B を解答しなさい。

3. 志望する専門領域と異なる解答をした場合は、採点の対象とはなりません。

問題 A 以下の英文を日本語に全訳しなさい。



出典 Alex Pazaitis, Vasilis Kostakis and Wolfgang Drechsler, 2022, "Towards a Theory of Value as a Commons", *International Journal of the Commons*, Volume 16 Issue 1: 248-262, DOI: 10.5334/ijc.1153



2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題

採点のポイント：

1. 専門用語を正確に翻訳しているか（例えば collective agreement, commodification, exploitation, self-managed, implicitly, collective memory, collective action, commons など）。
2. 複雑な構文に惑わされることなく、議論の筋を把握できているか。
3. 抽象的な議論されてでも、論者の意図を捉えるための想像力を持っているか。

問題 B 以下の英文を全訳しなさい。

出典 Harriett M. Barrett (1970) *the common base of social work practice*, National association of social workers, inc.

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 小論文（外国人留学生） 】

【出題意図】

社会学あるいは社会福祉学に関して、その主要なトピックについて深い理解があり、日本語において分析的・論理的な文章を書く能力を判定すること。

【解答上の注意】

1. 解答は解答用紙(2枚目)に記入すること。また、選択した問題番号を記入してから、解答して下さい。
2. 志望する指導教授の専門領域が、社会学と社会福祉学で、解答する問題が異なります。
*社会学領域の指導教員を志望している人は、問1を解答しなさい。
*社会福祉学領域の指導教授を志望している人は、問2を解答しなさい。
3. 志望領域と異なる領域の問を解答した場合、採点の対象とはなりません。

【社会学領域】

問1. 日本社会において、外国人をめぐって生起している諸問題について、以下の語句をすべて用いて分析し、あなたの考察を論述しなさい（語句については、最初に用いた際に下線を引くこと）。

国家 排外主義 少子化 インバウンド 定住化 共生

「解答のポイント」

1. 題意が正しく理解できており、題意に沿った解答がなされていること。
2. 用いられる語句について、正しく理解できていること。
3. 用いられる語句が的確に利用され、まとまりをもった論説を書けていること。
4. 解答者のオリジナルな見解が提示されていること。

【社会福祉学領域】

問2. 日本の社会保障制度改革をめぐる近年の動向について、以下の4つの各分野におけるそれぞれの改革の方向性を示すとともに、それらの具体的な改革について論述しなさい。

公的扶助分野 児童分野 障害福祉分野 高齢者分野

【公的扶助分野】

○改革の方向性：すべての人の生活の実現に向け、雇用による社会参加を通して誰もが居場所のある共生社会および「分厚い中間層」が支える大きな格差のない社会の構築に取り組む。生活保護制度による適切な給付支援や就労可能な人が、①生活保護に頼る必要がない支援体制を整備するため、生活保護制度の見直し、②生活困窮者に対する初期段階からの「包括的」かつ「伴走型」の支援、③福祉事務所等とハローワークが一体となった就労支援の抜本的な強化などに取り組んでいく。

○具体的な改革：就労自立促進事業、就労自立促進給付、被保護者就労支援事業、被保護者就労準備支援事業、生活困窮者自立支援事業、その他、ホームレス支援、住宅確保用配慮者への居住支援～など

【児童福祉分野】

○改革の方向性：地域の実情に応じて、幼児期の学校教育・保育等における総合的な子育てを推進していく。方向性としては、①待機児童の

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

解消と保育体制の強化、②質の高い幼児期の学校教育・保育を一体的に提供できる仕組みの構築、③地域の子育て支援の充実。「子ども子育て支援法」。

○**具体的な改革**：「エンゼルプラン」から「子ども子育て応援プラン」へ、「少子化対策プラスワン」、「子ども子育て支援新制度」「少子化社会対策大綱」、こども家庭庁の創設、「こども大綱」「こども・子育て支援加速プラン」～など

【障害者分野】

○**改革の方向性**：障害者が地域社会において各個人の尊厳をもって安心して生活できる総合的な施策の充実を図っていく。障害者総合支援法にて障害者の定義の見直しや支援体系の改善、障害者虐待防止体制の整備などが行われた。

○**具体的な改革**：障害者自立支援法の成立と障害者制度改革、障害者権利条約の批准に向けた国内法の整備、障害者総合支援法、精神保健福祉法の改正、障害者権利条約の締結

【高齢者分野】

○**改革の方向性**：高齢者となっても地域で尊厳をもって生きられるような地域包括ケアシステム（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが連携した要介護者等への包括的な支援）の構築に取り組む。また介護サービスの効率化および重点化を図るとともに、低所得者をはじめとする国民の保険料に係る負担の増大を抑制しつつ、住む場所によって限定されない、適切な医療・介護サービスが受けられる社会を目指す。

○**具体的な改革**：介護保険制度の創設、介護保険制度の定着と持続可能性の確保、地域包括ケアシステムの構築、医療・介護連携の推進、地域包括ケアシステムの強化～など